

ながやまっ子

校訓 「広げようやさしい心 きたえようじょうぶな体 育てよう学ぶ力」

龍ヶ崎市立長山小学校学校だより

令和8年6月18日 No. 5

創立38周年 最後の創立記念日を迎えて

～ 38年の誇りを胸に、新時代へつなぐ未来へのバトン ～



本日6月18日は、本校の創立記念日です。平成元年の開校以来、数え切れないほどの思い出を刻んできた本校ですが、来春に長山中学校、松葉小学校と統合し、新たに「義務教育学校」として生まれ変わるため、この学び舎で迎える創立記念日はこれが最後となります。

本校はこれまで38年という長きにわたり、この長山の地で子供たちの健やかな成長を見守り、共に歩んでまいりました。保護者や地域の皆様とつくりあげた学校行事、子供たちの成長を温かく見守り続けてくれた校庭のニコニコ山。時代が変わっても、この学び舎には常に、子供たちの元気な声と、それを我が子のように見守る地域の皆様の優しい眼差しがありました。振り返れば、学校の歴史は地域の歴史そのものでした。心より深く感謝申し上げます。

この最後の1年を、感謝と希望にあふれる年にするため、本年度は「閉校記念イベント」等を企画しております。現在は、昇降口前の「あいさつ広場」に、開校当時の写真を掲示し、さらに長山小学校クイズに取り組みながら、子供たちが長山小学校の歴史を感じられるようにしております。

来年度、本校は長い歴史に一つの区切りをつけ、1年生から9年生までが共に学ぶ「義務教育学校」へと大きな進化を遂げます。学校の「形」は変わりますが、ここで育まれた伝統や地域を愛する心は、決して消えることはありません。むしろ、これからは義務教育学校という新しい舞台で、より幅広い年代の仲間たちと切磋琢磨し、さらに豊かな人間性を育む大きな力になると確信しています。子供たちには、本校の歴史の「アンカー」として堂々と胸を張って過ごし、ここで学んだことに自信をもって、新しく始まる9年間の学び舎へ一歩を踏み出してほしいと願っています。

私たち教職員一同、最後の創立記念日を迎え、その歴史の重みと責任を改めて身に引き締めております。閉校までの残された日々は限られていますが、一日一日をこれまで以上に大切に、子供たちにとって一生の宝物となるような、笑顔あふれる充実した教育活動を展開してまいります。

保護者や地域の皆様には、子供たちが未来への希望を胸に次のステージへと羽ばたけるよう、最後の瞬間まで変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。